



Title	未来共創 13号 編集後記
Author(s)	上野, 隆弘
Citation	未来共創. 2026, 13, p. 255-255
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/106435
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ジャーナル『未来共創』第13号を発刊いたします。今号には、査読論文1本、研究ノート2本、報告4本、特集7本(特集報告7本)が掲載されています。

この1年間、ご縁があり編集作業を担当させていただきました。その過程を通じて人間科学研究科内のさまざまな取り組みを間近で見ることができました。その中には大学内にとどまらない社会に開かれた試みも数多くあります。本誌を通じて読者のみなさまに人間科学研究科や附属未来共創センターの活動を知っていただければと思います。

現在の世界情勢に目を向けるならば、本誌のテーマとする「共生」や「共創」を素朴に語ることは、ますます難しくなっています。そのなかで、「共生」や「共創」を目指す試みは多くの場合、失敗してしまうかもしれません。同じ目標を掲げつつもすれ違い、傷つくこともあるでしょう。それでも私たちはそれらを諦めずに探求し続けなければなりません。希望を胸に前に進み続ける必要があります。ジャーナル『未来共創』が、そうした模索をおこなえる実験的な場として続いていくことを願っています。

最後に、執筆者のみなさま、編集委員ならびに査読を担当してくださった先生方、附属未来共創センタースタッフのみなさまに感謝申し上げます。慣れない編集作業でしたが、おかげさまで大きなトラブルもなく刊行まで至りました。今年度から投稿締切を若干前倒しにしたためか、これまでと比較すると査読論文などの投稿本数は減少しました。それでも、例年に引けをとらない充実した内容になったのは、特集「人間と環境」によるところが大きいです。佐伯いく代先生には、特集の取りまとめの教員として春から1年間ご協力いただきました。ありがとうございました。また、今回も校正とDTPをレカボラ編集舎の小野寺佑紀さんをお願いしています。美しいレイアウトに仕上げていただきありがとうございます。

そして、読者のみなさま。今号もご覧いただきありがとうございました。春からジャーナル『未来共創』は新体制の下で動き始めます。次号もどうぞ期待ください。

2026年3月9日

ジャーナル『未来共創』編集委員会事務局長

附属未来共創センター特任研究員

上野 隆弘

発行 2026年3月31日
大阪大学人間科学研究科附属未来共創センター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2

編集協力
レカボラ編集舎 小野寺佑紀
デザイン 有限会社ブックポケット